

目的

県内のペット、ヒト、河川水由来の薬剤耐性大腸菌の現状（特徴）を明らかにする。
特に、伝播性のある薬剤耐性遺伝子の動向を明らかにし、薬剤耐性菌対策に寄与する

結果・考察

H30

- ペット由来耐性菌分離
- 分離菌の血清型別等

R1

- ペット由来耐性菌の解析
(薬剤耐性、遺伝子解析)

R2

- ヒト由来耐性菌の解析
- ペット、ヒト由来菌比較解析

R3

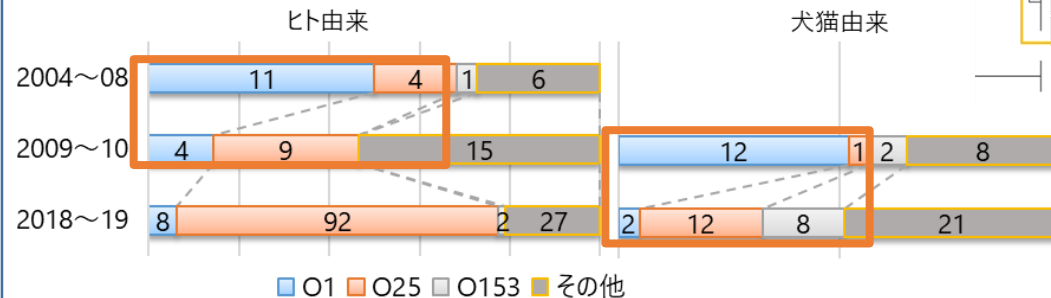
- 河川水由来菌の分離、解析

R4

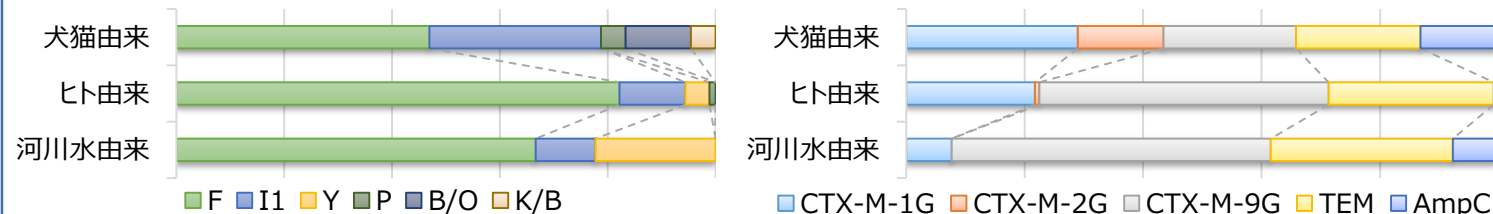
- 耐性菌の遺伝子比較解析
(ペット、ヒト、河川水)

- 犬猫の第三世代セファロスポリン耐性菌は増加
保有率：13% → 25%
2009年 本研究(2018年)

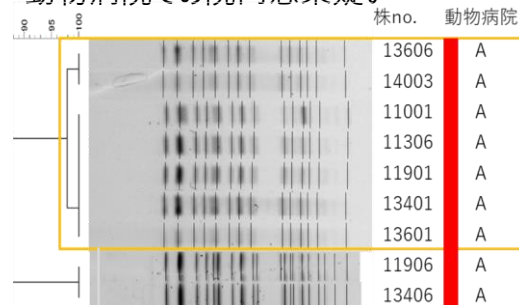
- O血清群の経年シフト
→ヒトから犬猫への伝播が多い可能性



- 犬猫・ヒト・河川に共通する類似菌株はほぼ確認されず + プラスミド型、*bla*_{CTX-M}型は同様の型を検出
→薬剤耐性菌の拡散は、プラスミド上の耐性遺伝子の伝播による影響が大きいと示唆



- 動物病院での院内感染疑い



成果発表等

- ・獣医学術中部地区学会 (R3.9月)
- ・大同生命地域保健福祉研究助成報告 (R4.9月)
- ・全国公衆衛生獣医師協議会調査研究発表会 (R5.9月)
- ・動物病院向け啓発資材 (チラシ等)